

■After		HAMACHO FUTURE LAB			
建築名称 下段: 英語名		HAMACHO FUTURE LAB			
建築用途		大分類 事務所、その他	小分類 事務所、浴場		
改修設計者		ワクト、再生建築研究所		URL URL	
所在地		東京都中央区日本橋浜町3丁目9-7		Google Map	
改修年		2023年		撮影者提供者 ナカサアンドパートナーズ	
建築規模		延床面積 木造棟 141.60㎡ / RC造棟 397.92㎡		概要 after 築40年超えの木造と鉄筋コンクリート造の2棟の建築と敷地をつなげ、新たな価値を生み出す2棟再生。	
掲載書誌		新建築2024年3月 商店建築2025年3月号			
賞・選定		2024年グッドデザイン賞 ウッドデザイン賞2024、「ソーシャルデザイン部門」			
■Before		鉄筋コンクリート造棟:宮崎ビル 木造棟:鶴野邸		概要 before 築44年の鉄筋コンクリート造と工場兼住宅として使用されていた築59年の木造住宅	
建築用途		大分類 事務所、住宅施設兼生産施設	小分類 事務所、住宅兼工場		
■写真 Before		リノベーション前の外観。左:木造建物、右:鉄筋コンクリート造建物		After 避難階段。1階は地域に解放された空間となっている	
					
撮影者提供者 再生建築研究所		撮影者提供者 ナカサアンドパートナーズ		撮影者提供者 ナカサアンドパートナーズ	
■リノベーション内容		キーワード 補強 適法化 増築 合体 用途変更 その他: 二棟再生	内容 古くから商店街や卸売業と住居が混在する日本橋浜町エリアにおける2棟の建物と敷地を繋げた再生計画。築44年の鉄筋コンクリート造の建物は屋外避難階段がないことによる用途制限ゆえに活用が難しい状況であったため、隣地の築59年の木造住宅と2棟一体の再生を試みた。違法建築であった木造棟を減築して適法化させ、鉄筋コンクリート棟の避難階段を増築するための余白を生み出した。建物単体では実現できなかった複合用途への再生を、2敷地を横断させることで可能とした。 減築により生まれた余白に、オフィス・踊り場・デッキスペースを兼ねて避難階段を設けることで、2棟の中間領域として棟を縫うような立体的な横断を可能とした。2棟の既存建物は耐震補強を行いながら既存壁を解体し、1階を開放。鉄筋コンクリート棟の1階はラウンジとし、2棟と裏地に建つ安田不動産が所有する店舗の中庭と接続させ、敷地境界を横断したエリアとの接続を生み出した。 日本橋浜町エリアにおいて、事業者が進める小さい開発と、大きな開発を共存させながら、この町がはぐくんできた文化や空気感を継承していくことを目指した。		
■備考					
■作成者 氏名／所属		神本豊秋 黒川 泰孝 筒井祥平 能村嘉乃		管理者 記載 No213	